



南郷谷の刈り干し切り・旧白水村 (菅田ミホ子氏所蔵)

10

2009
月

秋の風物詩「刈り干し切り」

秋の草原では、冬の間の牛馬の飼料を得るために、刈り干し切りが行われます。昔は、刈った草を干し、稲手（稲の茎）で束ね、それを小積んで乾燥・保管しました。現在は、機械化が進み、ロールにして保管するのが主流です。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 体育の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



作業道整備と小規模樹林除去

環境省では、草原の維持管理作業として欠かすことのできない野焼きや輪地切りの作業負担を少しでも軽減するため、作業道の整備や、草原に点在する小規模な樹林の除去を行っています。



干草を運ぶ (大滝典雄氏撮影)

干草を運ぶ牛馬
大観峰・1955年頃
(大滝典雄氏撮影)

11 2009
月

ふるさと阿蘇の草原文化を伝える「草の道」

阿蘇谷と外輪山上の標高差は約300m。草原を利用するために、集落と草原を結ぶ急な坂道を人や牛馬が通り、道は集落の人々により維持管理されてきました。ふるさとの文化遺産ともいえるこの「草の道」。現在は、トレッキングや草原環境学習の場として利用されています。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28
29	30					



若い力で守るぞ！阿蘇の草原

環境省は、財団法人阿蘇グリーンストックとの共催で草原環境学習ツアーを行っています。昨年は、九州や関西から大学生が参加し、輪地焼きなどの作業支援を行うとともに、阿蘇の草原環境について学び、考えました。

